

あなたもシルバー人材センターで活躍しませんか



▲シルバー人材が活躍中(①カントリーパークでイベント設営、②老人憩の家での施設運営、③草刈り、④樹木の剪定)

▶シルバー人材センターとは

働く機会を提供し、生きがいの充実や生活の安定、地域社会の維持・発展などを推進している公益団体です。私たちが目指しているのは“きょうよう”と“きょういく”です。
 “きょうよう”とは「今日、用がある」こと。
 “きょういく”とは「今日、行くところがある」こと。
 高齢期を元気に過ごすために、ぜひ一緒に活動しましょう。

▶入会要件

- ・本市在住の60歳以上の人
- ・健康で働く意欲のある人

▶入会方法

入会説明会を行なっています。電話で事務局へお問い合わせください。

●申し込み・問い合わせ先

市シルバー人材センター 担当 藤本
☎096-248-2394
 受付時間 午前9時～午後5時(土日祝除く)

働く人に聞きました

老人憩の家の受付事務や、イベントの売り子、施設・民家の草刈りなどをしています。きれいになると自分も気持ちがいいし、「ありがとう」と言われるととても嬉しくてやりがいがあります。自分のペースで働けて、顔見知りも増え、毎日元気に過ごしています。



いしかわ あきこ
石川 明子 さん
 (若原)

▶仕事内容

除草、植木の剪定、農作業の手伝いなどの屋外作業や、公共施設の維持管理、建物の清掃などを行なっています。
 労働者派遣では、スーパーの店内業務や介護施設の補助業務などの仕事もあります。

会員向け講習・イベントもあります

会員のスキルアップや福利厚生のため、各種講習やイベントを開催しています。剪定や草刈りなど、センター独自の技能研修会に参加してスキルアップを目指すことができます。受講後は、習熟度に応じて仕事を紹介します。また、季節の花を使った寄せ植え教室やコケ玉作り、ビューティーアドバイザーによる『大人のビューティーアップセミナー』も大人気です。



①11月19日、県乳牛共進会で優勝旗を受け取る松島さん
 ②③チャンピオンに輝いた牛たち



④牛乳が大好きだという松島さんの子どもたちの写真(妻・啓美さん撮影)。全酪連会報令和5年11月号の表紙を飾った ⑤インタビュー当日、北海道から来た牛に飼料を与え様子を見守る松島さん

牛に感謝!



まつしま たいち
松島 太一さん (若原)

松島さんは、乳牛の改良・育成技術を競う大会の上位入賞常連で、西日本を代表する若手酪農家だ。
 昨年は、3月の第19回オール九州B&Wシヨウ九州大会では名誉賞首席、11月の第42回乳牛共進会では経産牛・未経産牛の部の両方でグラウンド・チャンピオンに輝いた。来年は全日本ホルスタイン共進会北海道大会(5年に1度開催される全国大会)の出場と入賞を目指している。
 菊池農業高校を卒業後、北海道やカナダで酪農を学び、22歳で就農。松島牧場では両親・妻や実習生らと共に約150頭の乳牛を育てる。搾乳やエサやり、掃除などの牛の世話のほか、繁殖や栄養管理、病気対策などに気を配る。大変な仕事だが「辞めたいと思ったことは一度もない」という。
 育てるコツがあるのか聞いてみると「餌をたくさん食べてもらうこと」と答えた。言葉は少ないが、きっとそこには知識と経験に基づいたたくさんの工夫や、牛への心遣いがあるのだろう。
 酪農業はまだ飼料高騰や消費低迷などで厳しい状況にある。そんな中、品種改良や搾乳の効率化、ひいては生乳の質・量の向上に繋がる可能性を秘める松島さんの育成技術は、地域酪農の希望となっている。